

プロフィール

ジュゼッペ・モドゥーニョ

Giuseppe Modugno, piano

イタリア・ボローニャで生まれたジュゼッペ・モドゥーニョは卓越したソリストであり、室内楽奏者として精力的に活躍していることで知られている。

20歳の時、彼はピアノ演奏でボローニャのマルティーニ音楽院を優秀な成績で修了した。1985年にはボローニャ大学で「フランコ・ドナトーニから、ブラームスが受けた影響について」という論文を書き、人文学の学位を取得した。

彼は、フランコ・スカラが創設し、現在、次代を担う若手アーティストを輩出して注目を集めているイモラ音楽院の創設当初の12人の学生の一人である。そこで彼は、イェルク・デームス、ニキータ・マガロフ、ジェルジュ・シャンドール、ブルーノ・カニーノ、アントニオ・バリスタらといった音楽家とともに研鑽を積んだ。

1982年には、キジアーナ音楽院でグイド・アゴ스티に師事、最優秀で卒業とともにベスト・パフォーマー賞を授与された。

1984年にはベルージャのチッタ・ディ・カステッロのナツィオーニ音楽祭での国際室内楽コースに参加し、ベスト・ピアニストとして演奏した。

また、作曲をチェザーレ・グランディ、アレッサンドロ・ソルビアッティなどに、指揮法をマウリツィオ・ベニーニに学んだ。

この多方面広範囲にわたる芸術的、文化的知識が、音楽の本質を幅広い見解をもって見極めることの出来るソリスト、室内楽奏者としての活動を可能にした。

ソリストとデュオの部門で彼は7つのイタリアのコンクールと2つの国際コンクールで優勝している。

イタリアとその他の各国の主要なホールでソリストとして、オーケストラとの共演でも成功を収め、絶賛されている。

イタリア以外でもロシア（1990年グリンカ音楽博物館、スクリャービン博物館）、ドイツ（1993年ボン・ベートーヴェンホール）、スペイン、そしてアメリカでは、2001年の春にカリフォルニア大学サンタバーバラ校のアーティスト・イン・レジデンスに就き、ソリスト、室内楽奏者として演奏した。

モドゥーニョは、精力的にさまざまな演奏家と共演しており、例えば2台4手ピアノ（イタリアのピアニストのドナテラ・ビエリと共演）、弦楽室内楽（イタリアのヴァイオリニストのエマニュエル・ベンフェナティ、アルベルト・ボローニ、アメリカのチェリストのジェフリー・ルトコフスキと共演）などがある。

演奏活動に加えて、近年では教育活動にも力を注いでいる。講義の内容は、作曲家について、また、樹大なレパートリーについての歴史的、美学的な問題を扱っており、コンサート付きの場合もある。

録音ではイタリアの放送局(RAI)、アルベルト・スピネリとのメンデルスゾーンの4手ピアノ曲全曲(NUOVA ERA)、チェリストのジェフリー・ルトコフスキとのブラームスのソナタ(ERMITAGE)、ドナテラ・ビエリとのモーツァルトの4手ピアノ曲全曲(ERMITAGE)がある。

現在モドゥーニョは、ボローニャ王立音楽アカデミーの芸術監督、モデナのオラツィオ・ヴェッキ音楽院の教授を務めており、多忙な演奏活動を続けている。